（別紙）

タイトル	2021 年度　学校推薦型・帰国生選抜 共同教育学部（特別支援教育専攻）　小論文　および　面接
評価の ポイント	**（小論文）** 特定の教科に限られない幅広い理解力・判断力・問題解決能力・表現力等を評価するために小論文試験を実施している。 評価に当たっては、次の三点を特に重視します。 ・問題のテーマをよく理解したか。 ・問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。 ・記述に当たっての論理的な運びが正しく、論旨が明快であるか。 **問題１** 小・中学校の通常学級で障害のある児童生徒を指導する際に、特に注目すべき「合理的配慮」は何か、またその理由について、本文を踏まえ、具体的にかつ論理的に自分の考えを述べられているかどうかを評価する。具体的には、以下のポイントを抑えられているかどうかを評価する。 ・「合理的配慮」が何か理解した上で、小・中学校の通常学級に在籍する障害のある児童生徒を想定して、特に注目すべきだと考えられる合理的配慮について具体的に提案すること。 ・その合理的配慮がなぜ重要なのかについて、具体的にかつ論理的に自分の考えが述べられること。 出典：文部科学省「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」（第 3 回，2010 年 9 月 6 日）配布資料、資料 3：合理的配慮について（最終閲覧日：2020 年 8 月 20 日） https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/044/attach/1297380.htm **解答例** 合理的配慮とは、障害者が他の者と平等にすべての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整で、小・中学校の通常学級で障害のある児童生徒に対する教育を行う場合も重要な課題である。 小・中学校が障害のある児童生徒の教育を行うに当たって特に注目すべき合理的配慮は、「バリアフリー・ユニバーサルデザインの観点を踏まえた障害の状態に応じた適切な施設整備」と考える。なぜならば、障害のある児童生徒が学習可能な施設・設備であることが教育の大前提であり、整備が不十分では、障害のある児童生徒の学校教育自体が始められないからである。例えば、校内移動及び便所利用に支障を感じる学校であれば、肢体不自由のある児童生徒は、その学校への就学や進学を検討しにくい。その他にも、視覚障害のための点字ブロック及び分かりやすい目印、聴覚障害のためのチャイムや校内放送の可視化（フラッシュランプ、デジタルテレビ、パソコンとプロジェクター）などが挙げられる。 以上のことから、小・中学校では、障害のある児童生徒が安全かつ円滑に学校

生活を送ることができるよう、スロープや手すり、エレベーター、便所、点字ブロック、フラッシュランプ等の施設・設備を整備する必要がある。一方、障害のない児童生徒が逆差別を受けないよう、また合理的配慮を提供する側に過度の負担を課さないよう、留意する必要があると考える。

問題２

問題文にある通り、本文中にある著者の「病気や障害」についての著者の考えについて言及し、そのうえで教師を志すものとして、「障害や病気に寄りそう教師」像を具体的に述べられているかを評価する。

出典：細谷亮太（2011）僕は小児科医　（子どもにかかわる仕事　汐見音稔幸編より）．岩波ジュニア新書，p27.

解答例

病気や障害をもつ人は世の中ではないがしろにされがちであり、生活にさまざまな困難を伴うことがある。しかし、その人なりの健康や障害に対する考え方を見出すことができれば素晴らしい人生が開けることがある。それを子どもたちと一緒に考え、見つけていくことが小児科医の仕事だと著者は述べている。

今日の社会では、病気や障害に対する制度や理解が十分に進んでいるとは言いかねるため、こうした子どもたちが生きていく上でさまざまな困難がある。一方で、こうした困難を持つことが不幸なことと決めつけてしまうことも偏見と言えよう。病気や障害は困難ではあるが、イコール不幸では決してない。特別支援学校の教員は、子どもたちの学習や生活の支援を行うのはもちろんだが、病気や障害について深く理解していることも極めて重要なことである。そして、その子の人間性や能力を把握し、その子の可能性を見出していく力が求められていると考える。病気や障害に関わらず、子どもたちが力強く生きていくために必要な本当の意味での「生きる力」を作り上げることが特別支援学校の教師には大切なのではないだろうか。

子どもたちが自分の困難を前向きにとらえ素晴らしい人生になるように、幅広い病気や障害の知識を持ち、その子の可能性を最大限に伸ばすために寄り添いながら考えていくことができるような教員を私は目指していきたいと考える。

（面接）

将来、教員になるにあたっての資質を現段階において備えているかを判断するために面接試験を実施している。面接者の質問に適切に対応できているか、特別支援教育専攻に対する志望動機が明確か、基本的なコミュニケーションスキルや協調性を備えているか等から評価している。